

S S T L

NO. 60 2018. 7. 8

職場参加ニュース



越谷花火大会夜店 7月28日(土)

水辺の市1日みんなの食堂 8月7日(火)

川風のまち 人と人が出会う夏の夕



水辺の市 涼

1日みんなの食堂

日時 2018年8月7日(火) 雨天中止
15:00~19:00

カレーライス 子どもは1皿100円

他にも、かき氷、駄菓子、肉巻きおにぎり、ゲーム、音の遊び、お手紙、お菓子、雑貨、コンサート、コーヒー、餃子など 盛りだくさんのお祭りです

越谷市役所 東側高層用水沿道ウッドデッキ

主催 越谷にぎわいの会 連絡先:090(4203)4936(須長)

<http://e-kyodo.sakura.ne.jp/mizubenojiti/index.html>

越谷花火大会：ハロワはす向かいのせ一緒で夜店をしながら、屋内で会費制で軽く飲食し交流。(花火は19:00)
水辺の市1日みんなの食堂：カレー子ども100円、大人300円。当会も光るおもちゃ等の店準備中。助っ人募集

障害のある人も働きづらさを抱える人も—いま地域で問われる「働き方改革とは」 2018年度定期総会記念シンポジウム(6.3)から



堀 利和さん(共同連代表)の講演

国の「働き方改革」は「働く」側でなく「働かせる」側の改革でしかない。

身近な障害福祉サービスの分野では、この春から「加算主義」が強められた結果、就労移行支援では「就労しにくい人」の受け入れを避け、就労A型では「働きづらい人」を排除する傾向が助長されるだろう。いっぽう、長年共に働くための拠点として運営されてきた場合は就労B型が多いが、内部では競争を廃して利用者と職員も対等・平等に働くための努力・工夫を重ねてきても、その生産品を売るために

外部に出たときには過酷な市場競争に対する販売戦略が問われる。内での非競争と外での競争のバランスをどう取って行くのかが課題だ。

共同連は元来、障害者と健常者が共に働く事業所づくりをしてきたが、イタリア、韓国に学び、ホームレス、依存症、主婦、高齢者を含む働きづらい人をまじえた社会的事業所をめざすようになった。非正規で不安定な働き方が蔓延し、過労死や過労自殺が放置された中での「働き方改革」でなく、そこから排除された人々自らがもうひとつの「働き方」の価値を示していく時だ。



パネルディスカッションでの発言

鈴木啓太郎さん(就労B型「くまのベーカーズ」所長)

外資系特例子会社がセンター21メンバーを雇用し、B型が会社と協働し委託料が年600万円余り。社員の仕事は厳しいが、能力差別なく9時-5時でめったに残業はない。B型は10時-3時。研修や地域のイベント、週1回のサークルは福利厚生として休業にして参加。

Mさん(多機能事業所「Café にじさんぽ」通所者)

17歳からいろいろな職場を転々として働いてきた。30代前半での入院を経て、前にもましてデイケアが楽しくなり、何事も続くようになった。あちこちで世話になった人々のおかげで、いまの自分があると思っている。

柳沼絵美子さん(特定非営利活動法人にじさんぽ職員)

加算主義の下、施設は週5日働ける人をとりあう競争に追い込まれているが、Café にじさんぽでは週5日の人はごく少ない。各自で調整して働いており、Mさんも当初の週5日から木曜だけは午前中にして皆勤賞を得ている。さまざまな企業努力で工賃を確保している。

加納 毅さん(ワーカーズコープ・就労B型「ひよせ」職員)

無農薬野菜の生産を2ヶ所で行い、大手スーパーと直売所で販売している。個々人の長所に重点を置いて、効率化と意欲向上につなげられるよう、農作業だけでなく、それと関連する納品準備、そして内職や施設外就労も行っている。

高瀬 勇さん(就労移行支援「世一緒」所長)

働く前に何らかの条件をクリアしなければならないということはない。来た人には、せつかく来たんだから、どんな支援があれば働けるのか、その人の「働きたい」を応援してゆく。



コメンテーターから



堀 利和さん(共同連代表)

異なる事業内容と考え方、それぞれのよさ、難しさがある。それらを一つの分析としてまとめ、オーソライズすることが必要だ。朝日さんにも協力していただき、具体化していく必要があると思った。



田中克尚さん(越谷市障害福祉課副課長)

各事業所の報告からさまざまなことを学んだ。この4月から雇用率アップや精神障害者の雇用義務化、就労定着支援事業などが始まった。働きたい意欲をもつ人々を支えていく役割がいつそう行政に求められると考えている。

会場から質問

春日部市の角田さんから以下のような質問がありました。

- 1) 鈴木さんの話で、外は市場競争、内は競争がないというが、どう考えたらいいのか。
- 2) 堀さんの話で、障害のある人と生きづらさを抱える人というが、どこまでを障害というのか。
- 2) については朝日さんより、細かいモノサシはなく、心身のなんらかの状態に基づいて、それが働く上で生きづらさにつながったりしている状態を幅広くさしていると、回答がありました。1) については以下。



鈴木啓太郎さん(就労B型「くまのベーカーズ」所長)

大手企業の特例子会社との協働について、周りからはよい関係に恵まれてよかったと思われるが、実はさまざまな軋轢をくりかえしながら、現在がある。その上で企業の側も努力して変わってきているのが現状。

コーディネーターまとめ

朝日雅也さん(埼玉県立大学社会福祉子ども学科教授)



パネリストの皆さんはそれぞれにさまざまな実践を語られたが、共通するのは、働くことを通して人と人の関りを地域で創っていること。その時に、働き方はこうあるべきというのではなく、それぞれがどう働きたいか、それをどう支援するかから出発するということ。また、それぞれが、社会の分断された仕組みの中で無理が生じる。それに対して、しっかりした実践に基づいてオルタナティブな提案をしてゆく必要性について、堀さんは講演で

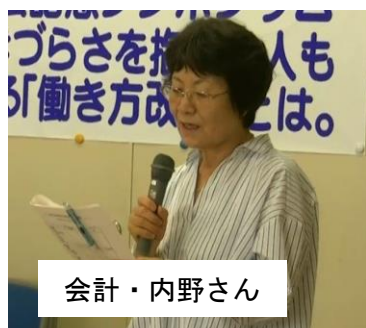
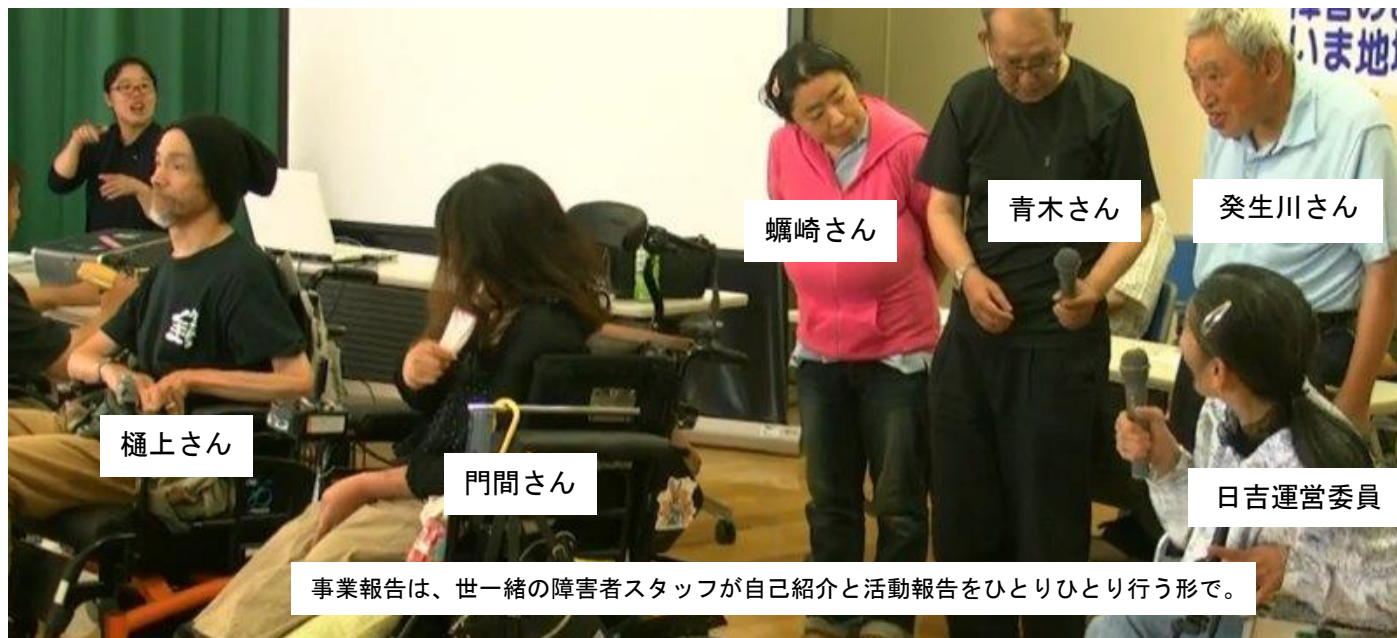
述べられた。私たちの「職場参加」もひとつのオルタナティブといえるだろう。



シンポジウムを終え「余韻タイム」でザ・ブルーハーツのTRAININGを会場の皆で歌いました。

NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会 2018年度定期総会報告

当会の定期総会は、記念シンポジウム終了直後に同じ会場で開催され、議長に吉田久美子さん(NPO 法人かがし座理事長)と飯島信吾さん(インターネット事業団)を選出しました。議案の提案は、読み上げでなく、当会流の親しみのあるスタイルで行われ、昨年度の事業報告、収支決算報告と監査報告を承認し、そして新年度の事業計画案と収支予算案を決議しました。総会に先立ち、越谷市高橋市長のメッセージを田中副課長に代読していただきました。



職場・地域ひろがりつうしん

●郷土玩具しらこぼと笛の絵付け



江戸雛復活など数々の業績ある越谷の人形師・山崎昭二さん(ひな源)の指導の下に、東越谷の職場参加ビューロー世一緒の障害者スタッフたちが、郷土玩具しらこぼと笛及び土鈴の絵付け作業を約2ヶ月間行った。世一緒では昨年も同じ作業を行い、完成した作品が埼玉人権集会の記念品として市に買い上げられた実績がある。定価500円。

今回は、世一緒のオリジナル商品として、天然記念物しらこぼとを市の鳥とする越谷市や県の鳥として、埼玉県及関係各所向けに販売キャンペーンを予定しており、そのためにまず100個を制作した。

変わりゆく地域をみつめ、さまざまな生き物と共に生きる願いをこめ、作品の販売・普及にご協力を!

●プール開始間近華やぐ水上公園花壇



当会が10数施設と共同作業で整備管理しているしらこぼと水上公園花壇は、梅雨空と対照的にカラフルなカーペットを広げたよう。障害の種別・程度もさまざまな施設が随時参加することで、それぞれの特色を生かし、同時並行でさまざまな工程をこなせるように。

この日は除草と花がら摘みと施肥。マリーゴールド、サルビア、ニチニチソウ、ペチュニアがプールの季節到来を告げ、参加する者たちの心も浮き立たせてくれる。

●語る会、たそがれ世一緒を続けて



写真は、毎月第3水曜日に、東越谷の職場参加ビューロー世一緒で開かれている「職場参加を語る会」。こちらに向かって話しているのは0さん。もう10年間ほとんど欠席なく参加している。忙しい職場の話、家庭の話、そして0さんの独壇場である昔のタレントやTV番組の話をする。0さんの職場ではソフトを組む時に、「語る会」の日を休みにしてくれる。

毎週木曜の16:00~19:00に開いている「たそがれ世一緒」は、0さんの右奥の樋上さんが管理人。最近では、就職が決まると喜んで報告に来た人や、施設を退所せざるを得なくなったとすすり泣く人もいた。

世の中「支援」の場は多いが、こんな風にさまざまな人生を伝え合う場が乏しくなっているのでは。

●越谷・水辺の市が日常風景になりつつ

写真は、6月12日の水辺の市。タンク☆ポップの



ライブの後、毎回こんな風に集合写真を撮るのが常。画像はインターネット事業団・飯島さんがボランティアで作成してくれているHPより。このHPは毎月更新され、出店者はもちろん地場野菜の生産者の紹介まで内容が豊富。

<http://e-Kyodo.sakura.ne.jp/mizubenoiti/180612mizubenoiti.html>

くらしセンターべしみ等何人かの出店者により、第2火曜の水辺の市以外の火曜にも小さな市が開かれ、お客さんがついている。

8月7日(火)には、夏休みの子供たちと親にも来てほしいと、15:00~19:00、水辺の市・みんなの1日食堂が開かれる。みんな来てね!

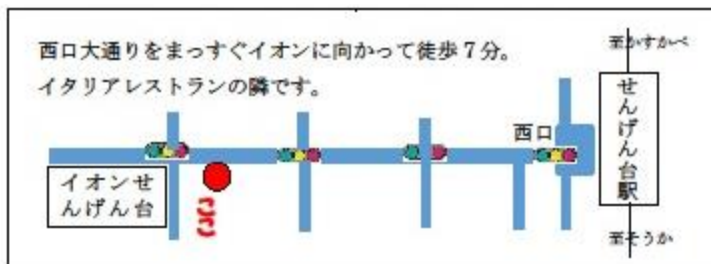
就労移行支援事業所「世一緒」着実に発進



せんげん台イオンのそばに当会が就労移行支援事業所「世一緒」を開所してから3ヶ月余り。現在の利用者は6名(定員20人)です。少数ながら、それぞれのカラーを生かして動いています。

R.Sさんは越谷市役所の知的障害者、精神障害者の臨時職員採用試験に合格し、今年いっぱいという期限付きで7月から働き始めています。また、Y.Sさんは、今月、市内の会社での職場実習が決まっています。

就労移行支援事業所「世一緒」の特色は「職場参加」です。初めから安定志向で、週5日フルタイム就労をめざしてがんばれ、がんばれというのではなく、いまの生活や労働能力のままで、少しでも地域の職場に入ってそこを足場にして次の一步をめざします。それが職場を耕し、共に生きる地域にもつながってゆきます。



左の写真は、6月27日、せんげん台の就労移行支援事業所で行われた「せんげん台すいごごカフェ」。月1回のペースでせんげん台を会場にします。この日のゲストトークは利用者の一人である廣井みえ子さん。

すいごごカフェ 7/11~8/22のゲスト

11日(水)

北倉 和久さん

筑波宇宙センター研究員

宇宙の仕事って何だ

息子さんがひよせに通っています。息子さんと以前一泊避難体験にも参加されました。今回は、宇宙の仕事についてレクチャーしてもらいます。

18日(水)

佐藤 栄子さん

わら細工介助者

飯

介助者になったわけ

団地でひとり暮らし。駅でチラシをもらったことがきっかけで、障害者たちの生活の介助に関する日々。「介護者不足」が叫ばれるいま、介助を続けるモチベーションとは

25日(水)

橋本 克己さん

盲ろう下半身まひの怪人

迷惑かけてまちびらき

就学免除で家の奥から街に出たのは19歳。あれから41年間、体当たりで電車、バスはもとより街を拓いてきた。見えなくなった今も体当たりで暮らしと街を拓き続ける

8/1日(水)

松尾 康晴さん

元東武鉄道社員

オートバイひとり旅

かつて東武鉄道社員時代、現在たそがれ世一緒の樋上秀管理人と出会う。ヒマラヤ越えを含めオートバイでひとり地球走行中。以前の名刺に121カ国・37万キロとある。

8日(水)

門間 愛さん

ケアシステムわら細工事務局長

共に生きる介助とは

わら細工は身近な他者が介助に関することを進め、介助を受ける側も介助組織の運営や制度の改革に関り活動している。その当事者事務局長の日々のエピソードから。

22日(水)

飯山 和弘さん

地活ふれんだむ所長

せんげん会で

ピアサポートはいま

2010年の「共に働く街を創るつどい」で「縁座の会」の当事者による共に働く街づくりを報告していただいた飯山さんが、いま地域活動支援センター所長になって

2018年7月～9月 世一精カレンダー 2018.7.8作成

2018年7月			2018年8月			2018年9月		
日	日中行事	ほか	日	日中行事	ほか	日	日中行事	ほか
1日	日		1日	水	ポスティブング?	1日	土	共同連合園セミナー
2日	月	求人広告フェイク	2日	木		2日	日	共同連合園セミナー
3日	火	互換料のオクニ	3日	金	たそがれ	3日	月	水上公園共同作業
4日	水		4日	土	たそがれ	4日	火	水上公園共同作業
5日	木		5日	日	どよう世一精	5日	水	水上公園予備日
6日	金		6日	月	水上公園共同作業	6日	木	たそがれ
7日	土	どよう世一精	7日	火	水上公園共同作業	7日	金	東横谷パザ一チラ
8日	日	夕焼けコンサート	8日	水	水上公園予備日	8日	土	どよう世一精
9日	月	水上公園共同作業	9日	木	水上公園予備日	9日	日	
10日	火	熱谷水辺の市	10日	金	ポスティブング?	10日	月	東横谷パザ一チラ
11日	水	水上公園予備日	11日	土		11日	火	熱谷水辺の市
12日	木	たそがれ	12日	日		12日	水	
13日	金	ポスティブング	13日	月		13日	木	うんとこしお祭
14日	土		14日	火	熱谷水辺の市	14日	金	東横谷パザ一チラ
15日	日	どの子も夏の集い	15日	水		15日	土	
16日	祭		16日	木		16日	日	
17日	火	水辺の市予備日	17日	金		17日	月	
18日	水	職場参加を願う会	18日	土		18日	火	
19日	木	たそがれ	19日	日		19日	水	職場参加を願う会
20日	金	ポスティブング	20日	月	ポスティブング?	20日	木	たそがれ
21日	土		21日	火	互換料のオクニ	21日	金	たそがれ
22日	日		22日	水	ピササポ一ト研究	22日	土	たそがれ
23日	月	ポスティブング	23日	木	水上公園予備日	23日	日	
24日	火		24日	金		24日	月	
25日	水	ピササポ一ト研究	25日	土	わたしの会集合室	25日	火	
26日	木	たそがれ	26日	日		26日	水	水上公園共同作業
27日	金	ポスティブング	27日	月		27日	木	たそがれ
28日	土	熱谷花火大会夜店	28日	火		28日	金	東横谷パザ一品
29日	日		29日	水		29日	土	
30日	月	求人広告フェイク	30日	木	総合課交換	30日	日	生活クラブ展示販売会
31日	火		31日	金	総合課交換			

○ここについているのは世一精を運営するNPO法人全体のスケジュールです。予定変更になることもありますので、電話確認等をお勧めします。
 ○ほかのスケジュールは、主にリハビリを兼ねた1～3時間内の屋外のアルパイトです。グループでやるので、初めての方でも大丈夫です。
 ○ほかのスケジュールは、主にリハビリでの講座やミーティングです。詳しい内容についてはお問い合わせください。



参加希望者はできるだけ連絡を！
048-964-1819 世一緒

越谷花火大会夜店

7月28日(土) 17:00頃～

東越谷の世一緒前で光るおもちゃを売ります！お手伝い募集！

交流会 18:30頃～

東越谷の世一緒の中で、会費制

(数百円)で食べたり飲んだりしながら交流します。

8月7日(火) 15:00~19:00

越谷市役所東側葛西用水ウッドデッキで

水辺の市1日みんなの食堂で**おもちゃ屋**出すよ！

他にも、かき氷、駄菓子、肉巻きおにぎり、ゲーム、昔の遊び、お手玉、お菓子、雑貨、コンサート、コーヒー、餃子などなど 盛りだくさんのお祭りです



場所 越谷市役所 東側葛西用水沿道ウッドデッキ

主催 越谷にぎわいの会 連絡先:090(4203)4936(須長)

⑨



廿一者スタッフ日記

最近の事 子供食堂

黒田 正巳

前の所から場所が変わり、子供食堂が夢空間のうらに、前に人が住んでた所を借りて、今やってます。新しい所になり毎週になり、月曜日に二時ごろからだいたい料理のおかずはきまっていますが、もらえる野菜でまたかわることも。料理上手なあきさんがいるから、作るおかずは心配なく美味しいのが作れます。スタッフの中には市議会議員の山田さん、マジックをやる山内君。大人は三〇〇円、子供は一〇〇円です。

学校が終わってから来るから、子供たちは五時すぎに親と来る子、友達と来たりして、できた料理、ご飯を皿にもって、ワイワイ話しながら食べて、食べ終わり時間がある子は自分とゲームやったり、おもちゃで遊んだり、山内君のマジック見たりして、楽しい時間過ぎて帰っていきます。みんな帰って来たら、子供食堂のスタッフ、責任者青山さんとコーヒー飲んで、お菓子を食べながら、みんなで今日の子供食堂の反省会、こなからやることを決めたりしているんです。やってるといえるんな事が五枚を一枚一枚袋づめに、五枚を一枚一枚袋づめに、十枚を大袋



世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し生きるために、世一緒に頑張っている人々を「スタッフ」と呼んでいます。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポート実習)や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事(花壇整備、除草、ポスティング)のグループワーク等もしています。元スタッフ等からの近況報告も紹介します。なお2018年4月からはせんげん台に就労移行支援事業所「世一緒」が開所しました。こちらは制度により定められた職員がおり、通所2年の間に一般就労への支援サービスを提供する場となっています。当会は定められた支援ももちろん、自主事業の世一緒(越谷)と連携して、多様な就労やピアサポートも可能な展開をめざします。

ます。自分もその仲間に入れてあげます。これからでもできる限りガンバってやっていきます。六月二十四日・日曜日に、スタッフじゃないんですが、ふだんはよそで働いている若者たちが、前にたまたま子供食堂に来て、いろいろ話してうちにプレート作りの事が出て、やりたいと言って、二十四日にやることになり、十時〜四時やって、思ったより人が来てやって良かった。

失敗しても笑える仕事場

青木 繁明

私は、きずなファクトリーに来てから、失敗をしても笑ってしまふことがある。数のかぞえ、またふくる入れの右側に入れるのを左側に入れたり、時々失敗してしまふ。でもきちんと教えてくれるので、見本を見せられたり、やり方を教えてくれたりする。職場は女性が五人、男性が三、四人。ラジカセを聴きながら明るい職場。仕事に始めに今日のきぶんを話すことにならなっている。作業はむずかしいものもある。テープ張りやかみやり。五枚を一枚一枚袋づめに、五枚を一枚一枚袋づめに、十枚を大袋

教えてあげるせんぱいに

伊藤 峰子

私は今生協の工場で十二年はたっています。日曜日から木曜日まで会社に行って仕事しています。入った時は、分からないことがあってもひとに聞いたりするとがなくて、やっとひとに聞けるようになった。ほとんど仕事のことにしてははちょうに聞か、私が今の会社で仕事を始めた時の担当が所長だったので、所長に聞いたりしています。わからなことがあつたりしたら誰に聞かんだらう。もし所長がいなかったらはちょうに聞かかな。わからなことがあつたりしたら誰に聞かんだらう。もし所長がいなかったらはちょうに聞かかな。わからなことがあつたりしたら誰に聞かんだらう。もし所長がいなかったら

最近の私は大変だあ

門間 愛

最近の私はなんだかとても大変だあ。なんでか?というところ、すぐに体調を悪くしてしまう事が前よりも多くなっているような感じがあります。今現在のはわら細工の事。局長になって三年目になり、沢山会議に出席したり、全国的な等にも参加をするようになってきました。とても忙しい毎日です。わら細工の中でも入力や会議の司会、時間がある時、ちょこことは勉強をしたりしています。

生活ホームもんでんという所に住んでいて私はじめ四名が入居しています。毎日毎日、朝と夜はにぎやかです。なぜかわかんないほど毎朝毎朝、ケンカが始まります。朝が弱い私は日々となりまくりです。(泣)

わら細工の他にはべしみて毎週火曜「あもんず」という外出ユニットがあり、私はリーダー的に動いています。電車などにのって会議に行ったり、大学で介助者募集のピラマキをしたりして活動しています。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

当会はみなさまの会費と寄付金等により支えられています。どうぞ、ご協力をお願いします。

〒344-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 世一緒内 (ハローワーク斜向かい)
048-964-1819 (fax 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp http://www5b.biglobe.ne.jp/~yellow/

二〇一八年七月八日発行(毎月十二回 二と四と六と八の日) 通巻 第四六四二号
一九九四年八月二十四日第三種郵便承認
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 〒333-0851 川口市芝新町十五-九 アステール藤野1F

